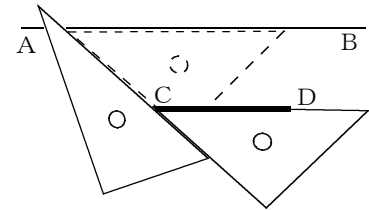


<平行と合同②>

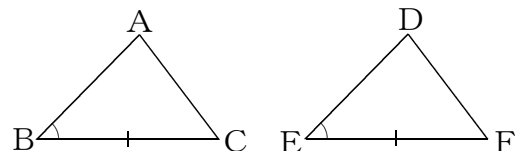
組	番	名前
---	---	----

- 1 右の図のように、三角定規を用いて、直線ABに平行な直線CDをひきました。直線ABと直線CDが平行であることの根拠として正しいものを、次のア～オの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。



- ア 1つの直線に垂直な2直線は平行である。
- イ 平行な2直線では、その同位角が等しい。
- ウ 平行な2直線では、その錯角が等しい。
- エ 2直線に1つの直線が交わる時、同位角が等しければ、2直線は平行である。
- オ 2直線に1つの直線が交わる時、錯角が等しければ、2直線は平行である。

- 2 右の三角形が、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ となるためには、 $BC = EF$ 、 $\angle B = \angle E$ のほかに、あと1つどんな条件を付け加えればよいか、2通り書きなさい。また、そのときにあてはまる合同条件を書きなさい。



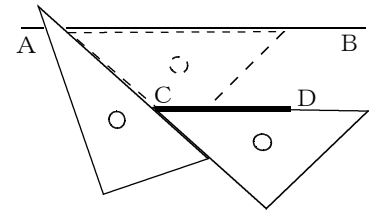
付け加える条件	あてはまる合同条件
=	
=	

<平行と合同②>

解 答

組	番	名前
---	---	----

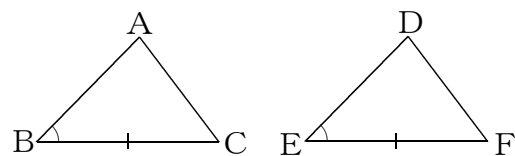
- ① 右の図のように、三角定規を用いて、直線ABに平行な直線CDをひきました。直線ABと直線CDが平行であることの根拠として正しいものを、次のア～オの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。



- ア 1つの直線に垂直な2直線は平行である。
 イ 平行な2直線では、その同位角が等しい。
 ウ 平行な2直線では、その錯角が等しい。
 エ 2直線に1つの直線が交わるとき、同位角が等しければ、2直線は平行である。
 オ 2直線に1つの直線が交わるとき、錯角が等しければ、2直線は平行である。

エ

- ② 右の三角形が、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ となるためには、 $BC = EF$ 、 $\angle B = \angle E$ のほかに、あと1つどんな条件を付け加えればよいか、2通り書きなさい。また、そのときにあてはまる合同条件を書きなさい。



付け加える条件	あてはまる合同条件
$AB = DE$	2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。
$\angle C = \angle F$	1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。